

けふ 雑祭り



平消防組の

礎石を表彰

榮ある此機会に

井上氏外永年勤績者を

大日本消防協會より表彰旗を授與された光輝ある機会を利用し井上組頭を表彰すべき計劃あるは既記の如くであるが本日の

町會に是れを前提

同氏は明治四十四年組頭に就任以來勤績實に廿有三年の長日月に至り消防組織及び施設の改善、風水火災の警防、消防思想の宣傳に努めた

功勞は洵に甚大なる

ものがあるとして記念品を贈る事に決定、併せて此機会に消防創設以來四十年の長き星霜を消防組に終始貢獻した小頭高根澤長太郎、小頭在職廿年の鈴木長三郎、兩氏の如きも、その功勞に顯著なるものがあり今町の

榮えある

表彰も 此人達の力に

俟つ處が多い故を以つて何等か町として酬ゆる處があつて欲しいとの動議出で小頭廿年以上、消防手卅年以上の組員も表彰の光榮を願つ事となり尙消防顧問山崎與三郎、鈴木堅助、榎田榮太郎三氏にも此際感謝状を贈る事となつた

警中卒業生の

上級進學

四八名を數ふ

警城中學校卒業生中その後の上級學校入學合格者は左の通りであるが今五日現在を以つて四十八名の多數に上つてゐる (明治專門校)三五回遠藤

民雄(青山師範)三五回片寄富士雄、三〇回首藤進(佐賀高校)三四回中村徹三五回中村保(一高)三五回齋藤鐘次郎(横濱高校)三四回吉川三郎、同金成令宣(青山師範)三〇回首藤進(三重高農)三五回石田降男(東京商大豫科)三五回水野秀三郎(同專門部)三四回坂本正勝、三四回吉川三郎(桐生高工三五回遠藤民雄(宇都宮高農)三三回鈴木道夫(仙臺高工)三二回魚住正雄

警女級長

けふ任命式

警城高等女學校では新學年度の正副級長は今五日各級別に選舉を行つたが二年以上左記廿四名に決定、任命式を行つた (一)正木千鶴子、五十石剛子 (二)桐谷つね

女工六百名

昭和人絹から

この大量申込

平職業紹介所で去月中に取扱つた紹介成績は求人が男六十九名、女六百三十一名計七百名、求職は男五十五名、女三十四名、計八十九名、其のうち就職したのは男三十四名、女十三名、計四十七名であつたが女の求人六百三十一名のうち六百名は昭和人絹工場の女工申込でこの大量を除いても求

町農會講習

品評會準備

平町農會は明六日午後一時より役場會議室に郡農會柴田技手及び石城駐在技術員吉成技手の兩氏を招き苗代二毛作管理の講話會を開き終つて本年の各種農産品評會開催に就いて協議する

平町建築物

保險契約

平町は市内三小學校及び商業學校々々に其他町有建築物の十年度火災保險契約の爲め来る十二日午後一時より町會議事堂に市内の各火災保險代理店主を招き打合せると

新任技師 本縣港築港視察 灣工事主任山口技師は今回退職となつたので後任の木村技師は本月九日來平、十三日迄豊岡、江名、小名濱等の工現狀を視察する

博覽會の補助 滿蒙と國防博覽會に對する町費補助は既報委員會にて決定の如く平商生及び小學生、軍人遺族等を無料觀覽せしめる條件を以つて一千二百圓を交付する事に本日町會で決議した

藤田校卒業式 平町田町藤田女學校の第五十回

仲の作漁港

來月竣工豫定

既報總工費二十二萬五千圓を投じ昭和七年より四ヶ年繼續事業と着手して中の江名町仲ノ作漁港の修築工事は本年一月より最後の護岸

卒業證書授與式は来る七日午前九時より同校講堂で舉行される

平町人事

出生

△胡摩澤 鮎時東京市大森區大森三丁目堀重次氏三女スエ子

△長橋町 當時東京市神田區末廣町菅原平二郎氏二

男列

結婚

△福島市森合 三好英助(五三)氏 田町五 横内富貴(四〇)

死亡

△夏井村字南作 白土利助(三四)氏 紺屋町酒井ヨシ(二〇)

△三丁目當時植田町字町後赤塚久千代(二〇)さん

特價販賣

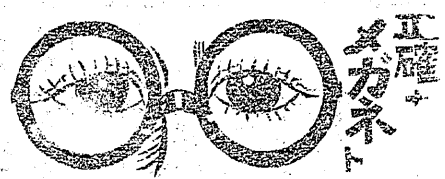
正確な

眼鏡は...當店へ

景品付新發賣開始

パイロット高級萬年筆

即時御名入彫刻無料



視力検査

平町電話二〇七番

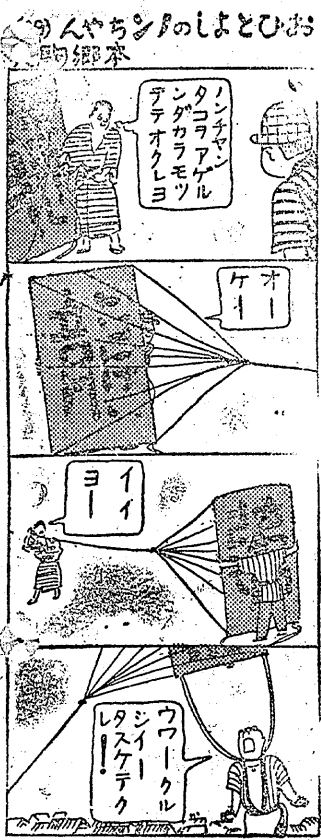
内科

川井内科診療所

川井安子

平南町(電話二四三)

印刷の御用は設備完全の「常磐毎日」へ電話六三〇



大暴れの最中

仲間の貯金通帳を

コソソリ盗んで知らぬ顔

▽安心ならぬ飲み友達

内郷村大字綴字沼尻居住日 雇似鳥勝治(五)及び安達興 三郎(三)辰田義光(五)の三 名は昨日午後二時頃綴字 前料理店渡邊孝治方で飲酒 泥酔し一團となつて荒れ廻 り戸障子を叩き壊して飛出 し近所のカフェー石堂アサ 方でも同様に手當り次第道

お雛様の

燈明から

危く火事に

昨日日夜九時頃平町南町四 九染物業鈴木留五郎方二階 より發火際子唐紙を焼いて 天井に燃え移らんとしたの を附近の者が發見急報に駆 け付けた自動車消防隊員に

坑内に取残した

爆薬類を隠匿し

密漁に使用發覺

内郷村大字宮居住警城炭礦 を自宅に持歸つて魚探りに 坑夫増山幸吉(三)は昨年九 月以來坑内爆發作業に取殘 されたダイナマイト十數本

女中の劇薬自殺

寫眞館に雇はれ中に

お別れに

特別執行

豊間村字八幡橋本權次郎長 女キク(二)は昨年四月から 田村郡小野新町寫眞業小野 俊雄方に女中をして雇はれ て居たが昨日午後十時頃 硝酸銀を多量に嚥下して自 殺を圖り苦悶中を家人に發 見され生命危篤の由で昨夜 平署に同人の身元照會があ つた

悪周旋屋の口車に

乗つて平地方の苦界に

石川郡石川町字下泉二二四 鈴木静信方居住、栃木縣邦 須郡湯津上村生れ諏合エガ (五)は本年二月悪周旋屋の 口車に乗つて行衛不明とな つたが最近石城地方の花柳 界に身を沈めて居るのを知 人が見たと本日親元から 平署に捜査方を願ひ出た

千葉校長

六日に來平

新任平第二小學校長として 保原より赴任する千葉右近 氏は明日午後二時五十分 平着で來平するが正式着任 は來る八日の由

明日のラジオ

六日

今晚の部
後六、〇〇 お話 櫻川村
清一
後六、二五 滿洲國皇帝陛 下をお迎へ奉る 岡田啓 介
後七、三〇 講演「わが國 貿易の狀勢及その將來」 藤正憲
後八、〇〇 講演「龜甲稿」 龍齋眞山
後八、三〇 新内「藤かつら」岡本文彌外
後九、五五 日本棋院春季 東亞大手合戦續

明日の部
前七、〇一 朝の修養「世 尊の歸城」高橋順次郎
前八、〇〇 滿洲國皇帝 橫濱上陸御模様(横濱税 關西四號上屋付近中繼)
前九、一〇 東京驛御着 御模様並奉迎實況(東京 驛前中繼)
後〇、〇五 管絃樂 大阪 ラヂオオーケストラ 桃 谷中繼

後九、三〇 時報ニキス 氣象通報 番組豫告
後二、〇〇 講演「釋尊降 誕花祭に際して」杜多碩 心
後二、五〇 アメリカカンフ ヲトボール實況(神宮中 繼)
後六、〇〇 子供の時間 お話「滿洲國皇帝陛下」 細川武子
後六、二五 講演「最近指 定せられたる、天然記念 物」本田正次
後七、三〇 滿洲國皇帝陛 下奉迎の夕 餘興數種

小學校士盛

大浦青年團にては本月廿八

日より卅一日迄全員出動し て同村小學校庭の土盛作業 を奉仕する

裁判所たより

△石城郡永戸村大字下永井 字藏戸小玉川第二發電所飯 場頭四谷武雄(五)同工夫佐 藤金治(三)同工夫佐々木義 治(三)同工夫今田權進(四) は去月三日同飯場内吉見善 治を火箸で殴打し全治約一 週間の打撲傷を負はした事 件は傷害罪として平區裁判 所より略式罰金各貳拾圓に 處さる

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さる

直に家政婦を派出します

派出多忙に付會員至急募集

上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

△過般植田署に一網打盡に 檢舉された石城郡田人村大 字黒田農小宅末吉(三)外九 名に對し賭博罪として略式 にて左記罰金言渡しがあつ た
(四十圓)農小宅末吉 材 木商番頭蛭田一郎 農芳 賀秋治(五十圓)農緑川幸 太郎(三十圓)農小宅幸 緑川軍三 蛭田儀一 緑



明治太平記

(無断複製 上巻及上巻)

(作) 寺島征史
(監) 野口

第九十二回

征韓是非(十)

「浪人、失業者の洪水で潰れるといふ觀察が、あんなにはでげんか」

西郷は、さらに追究すると、大久保の口邊に冷笑がのぼつた。

「なアに、浪人なんぞ!」

大久保は、もう玄關さきまで歩いてきてをつた。

「それを見送つてか、さらに追究する氣でか西郷も玄關さきへやつてきた。

「だが、もう一度、考へてみてくれたまへ」

「何が……」

大久保は、振返らうともせず反問した。

「その浪人失業者のことさ國家の一大事ですぞ」

「戦争は、日本にとつて、不利益ぢや、日本はいま鎖國の夢からさめ世界各国に交際を求めてをる大事の場合だ。野蠻な戦争をして、各國から毛ざらひされては大變ぢや」

「あ、そのことか。そのことであんたは、征韓は不都合を唱へられるか。しかし、大久保君、わしは一介の武弁として、我田引水からいふのぢやないが、戦争

武力を、野蠻視するのは、日本人のすぐれた精神、技能をまひさせやうとする切支丹的な妖説なのぢや」

「……」

大久保は、玄關先へおひ立つてゐた。

「歸るか」

「歸る」

「さうか、氣をつけて歸りたまへ」

西郷は重石のやうな身體を奥の方へ運んでいつた。お馬車へ乗つてからも、大久保の胸には、西郷を憤る烈火が消えなかつた。

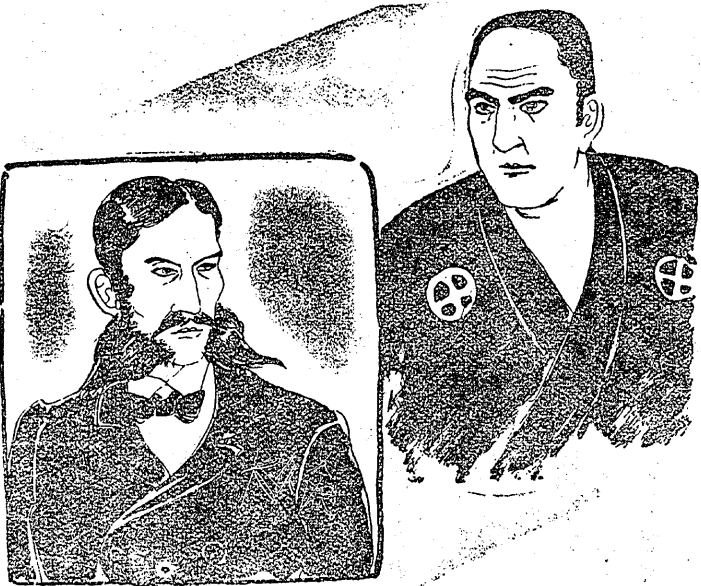
鈍物めが!

夕景の路上を、馬車をす

「人と人が殺しあふ、それが野蠻行意でないとは……」

大久保は、さらに、あからさまに冷笑を浮べた。

「維新のどさくさに、勤王倒幕の爲に盡した人々は、



みなそれぞれに人を殺した京洛で、江戸で、函館で戦をした官軍、賊軍皆野蠻とあんたはいふのか」

「……」

「日本民族の、最もすぐれた点は武力ですぞ。武力を以つて世界を統一すること、が建國以來の精神なぢや

「……」

「日本民族の、最もすぐれた点は武力ですぞ。武力を以つて世界を統一すること、が建國以來の精神なぢや

ほどの器量があつてたまるものか。何もわからずつて物の重石のやうに座つてゐるからみんなが肚の大きい人物と買被つてゐるんだ。憎惡の癖がたかぶると、彼はぶる、と身をふるはした。

「いまにみる。ほんとうの重石に見せてやるぞ。」

西郷は、浪人、失業者の續出を憂慮してをる口物だし、しかしそれは憂慮してをるのではなく浪人。失業者を種にして征韓論を纏めよとするのだ……と、大久保は解した。

「いや、何よりもその浪人失業者を、よほど樂にしてをる風だ。あいつに、浪人、失業者を肯負こましてやらうか。」

「……」

「日本民族の、最もすぐれた点は武力ですぞ。武力を以つて世界を統一すること、が建國以來の精神なぢや

花の春衣大賣出し

4月1日ヨリ7日間

陽春の感觸を染識の妙技に

よつて表現せし新製品

- ◎春の新柄錦紗 八〇〇ヨリ
- ◎羽二重丸帯 八・五〇ヨリ
- ◎春柄ニヨリ 九〇ヨリ
- ◎モス着尺 二・八〇ヨリ
- ◎名古屋帯 一〇〇ヨリ
- ◎英子ル 九五ヨリ
- ◎人絹と小紋 大特賣
- ◎新柄銘仙

春の紅屋セル大量特賣(一反お買上毎に紅屋石鹼呈上)

御婚禮衣裳大提供

▼小店員募集▼

平町三井呉服店

木村外科醫院

平町六丁目橋際
電話三〇九番

木炭代用

月星豆炭 一八キ口壹袋

金八十錢

平驛前

阿部石炭商店

外科 X 光線科 性病科

平町田町

安齊外科醫院

話四七五番

入院 隨意

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮温湯

丹波博士創製セキドメ

たんぽあめ

うまくてセキがヨクトマ

靈藥ムテキ

平町古銀治町〇一

阿部康藥舖

縣社ノ下 電話四四番

病に勝て!!

肺病、ロクマク、神經衰弱、營養不良、不眠症其他に……

増精血 すつぽんむし焼

平町田町

阿部康藥舖